

# 平成30年度 医療的ケア児等の支援にかかる実態調査結果（概要版）

香川県健康福祉部障害福祉課

## 1. 調査目的

本調査は、人工呼吸器を装着している障害児など、日常生活を営むために医療要する状態にある障害児者が適切な支援を受けられるよう、医療的ケア児等に係る実態調査を実施した。

対象は、地域で生活する下記医療的ケア（★）を要する患者です。なお、小児科がひきつづき診ている成人やグループホーム居住者も含まれます。ただし、年齢が40歳以上の方（平成30年3月31日時点）、気管支喘息、糖尿病のみ、あるいは両者の合併のみの患者は除外します。

★医療的ケアとは下記を行うものを指します。

- |             |                      |                              |
|-------------|----------------------|------------------------------|
| a. 口、鼻からの吸引 | b. エアウェイ挿入           | c. 気管切開（喉頭分離術を含む）            |
| d. 在宅酸素     | e. 人工呼吸器装着（NPPVを含める） | f. 経管栄養（口からの経管栄養、経鼻栄養、胃瘻、腸瘻） |
| g. 導尿       | h. 中心静脈栄養、腹膜透析、人工肛門  |                              |

## 2. 調査概要

### （1）香川県医療的ケア児等にかかる実態調査（①一次調査）

調査対象：香川県内の医療的ケア児等にかかる医療機関等

調査方法：県内医療機関に送付し、回答がない医療機関には電話依頼を実施。

※中四国小児科医会合同事業の小児在宅医療の実態調査をもとに調査を作成した。

さらに本調査においては40歳未満の成人も対象とすることから「在宅患者訪問診療料」を追加した。

調査期間：平成30年12月4日～平成30年12月14日

回収率等：

調査対象数	有効回収数	有効回収率
940医療機関	810医療機関	86.2%

### （2）医療的ケアを必要とする方の支援ニーズに関する調査

調査対象：香川県内の医療的ケア児等の主たる介護者等

調査方法：一次調査で対象診療報酬にかかる算定患者がいる医療機関に調査配布を依頼、該当患者から郵送による回答

調査期間：平成31年1月15日～平成31年2月15日

回収率等：

調査対象数	有効回収数	有効回収率
331人	93人	28.1%

### (3) 医療的ケア児等の支援に関わる事業所調査

調査対象：香川県内の障害福祉サービス事業所等（訪問看護事業所を含む）

調査方法：電子メールによる依頼及び回答

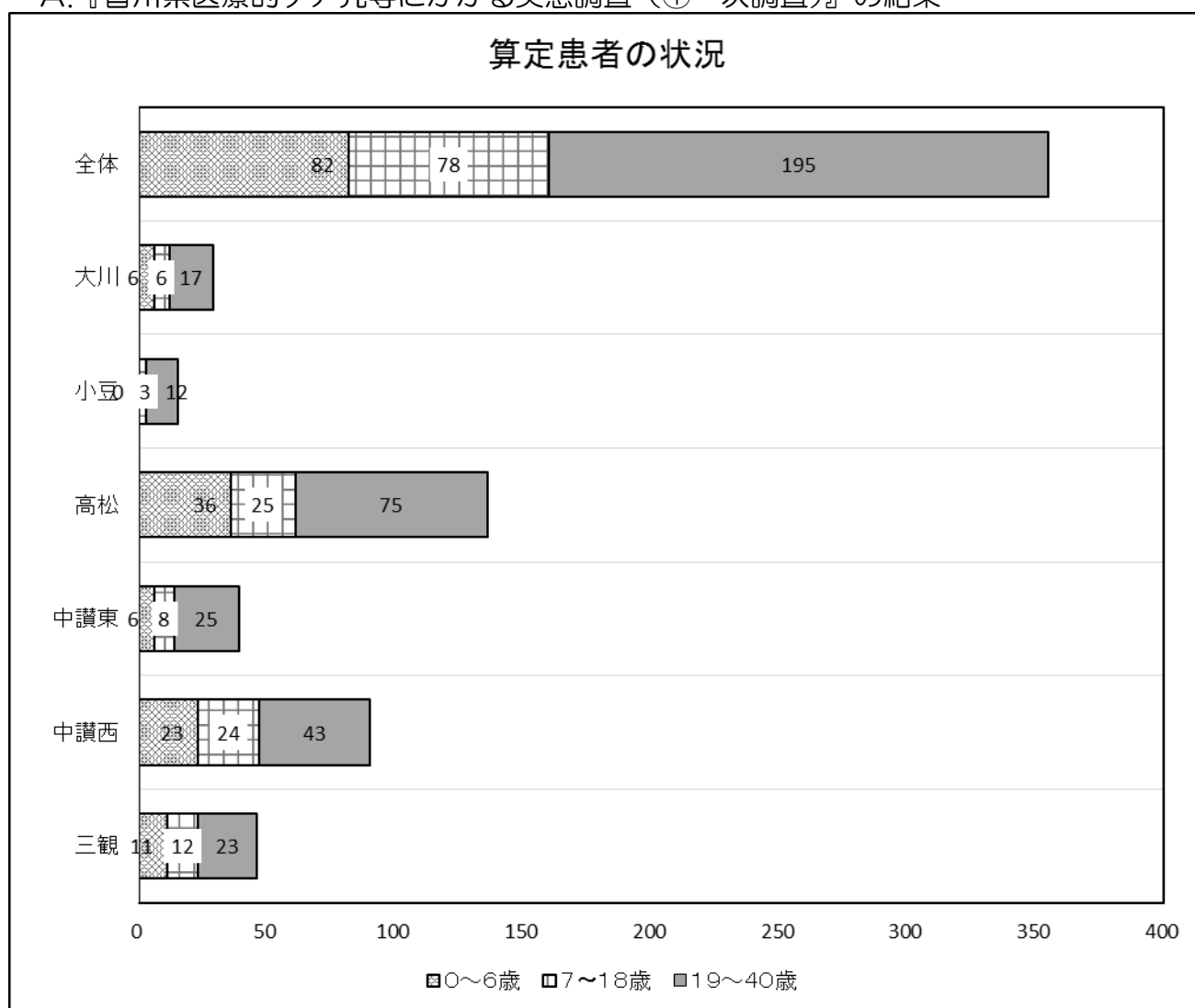
調査期間：平成31年1月8日～平成31年2月8日

回収率等：

調査対象数	有効回収数	有効回収率
597事業所	155事業所	26.0%

## 3. 調査結果

### A. 『香川県医療的ケア児等にかかる実態調査（①一次調査）』の結果



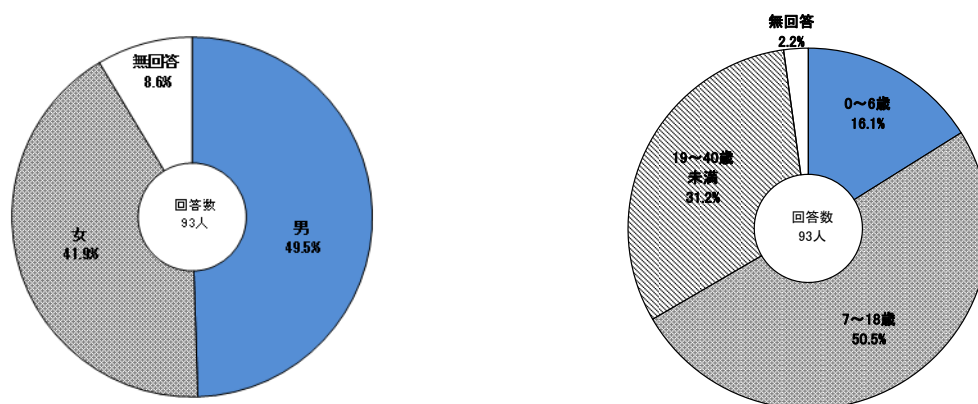
(補足)

大川（さぬき市、東かがわ市）、小豆（小豆島町、土庄町）、高松（高松市、三木町、直島町）、中讃東（坂出市、綾川町、宇多津町）、中讃西（丸亀市、善通寺市、琴平町、多度津町、まんのう町）、三観（三豊市、観音寺市）

## B. 『医療的ケアを必要とする方の支援ニーズに関する調査』の結果

### 1. 医療的ケアを必要とするご本人

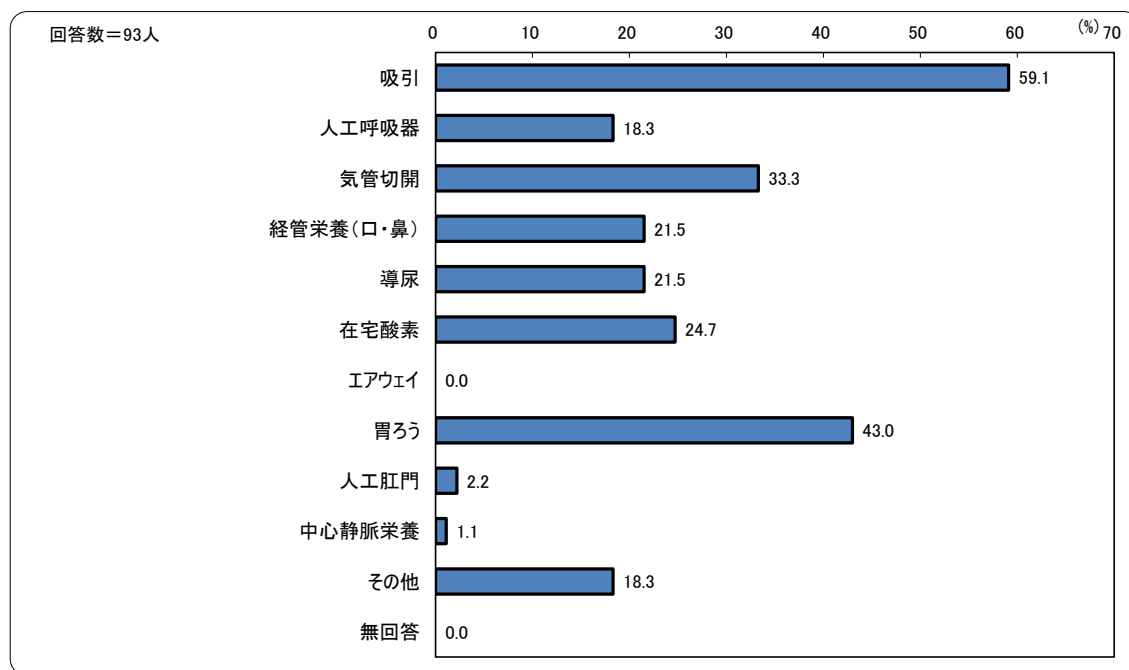
#### (1) 本人のこと



性別について、「男」が49.5%、「女」が41.9%となっている。

年齢について、「0～6歳」が16.1%、「7～18歳」が50.5%、「19～40歳未満」が31.2%となっている

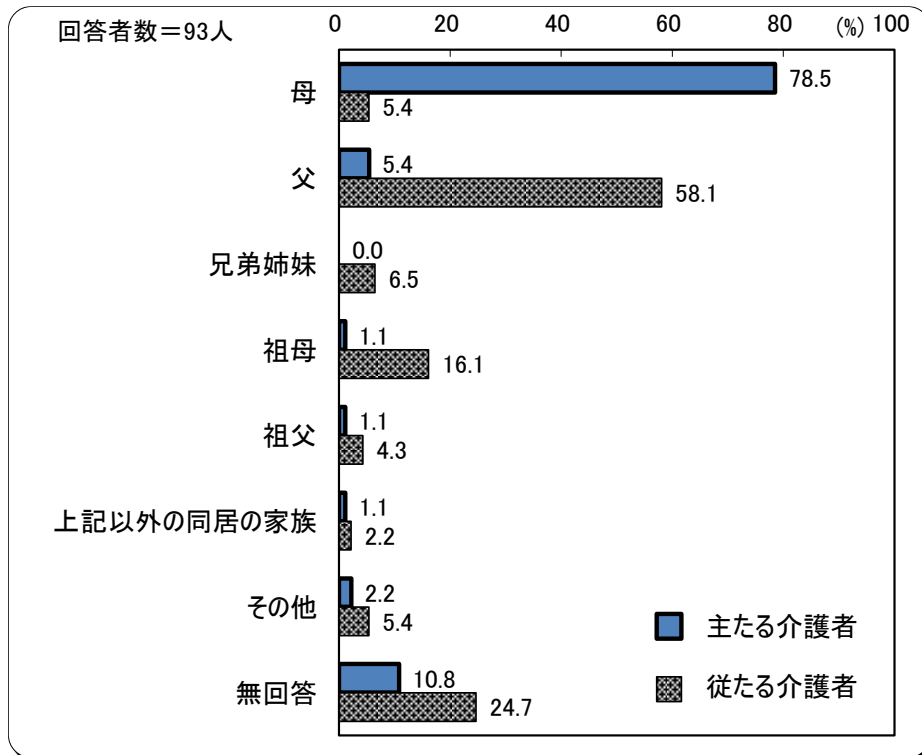
#### (2) 現在行っている医療的ケア（複数回答）



現在行っている医療的ケアについて、「吸引」が59.1%と最も多く、次いで「胃ろう」が43.0%、「気管切開」が33.3%となっている。

## 2. 医療的ケアを行う方

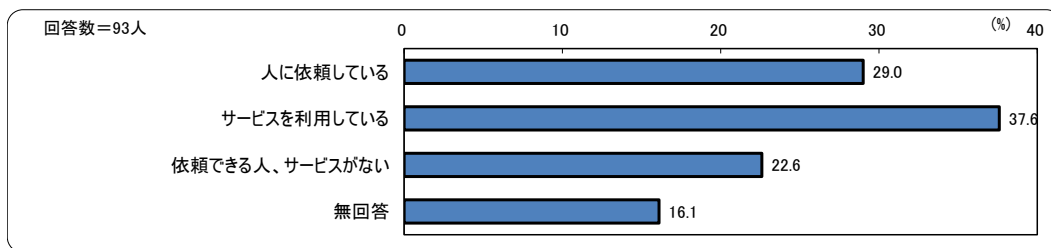
### (1) 自宅で医療的ケアを行う方



「主たる介護者」は、「母」が78.5%と大半を占めている。

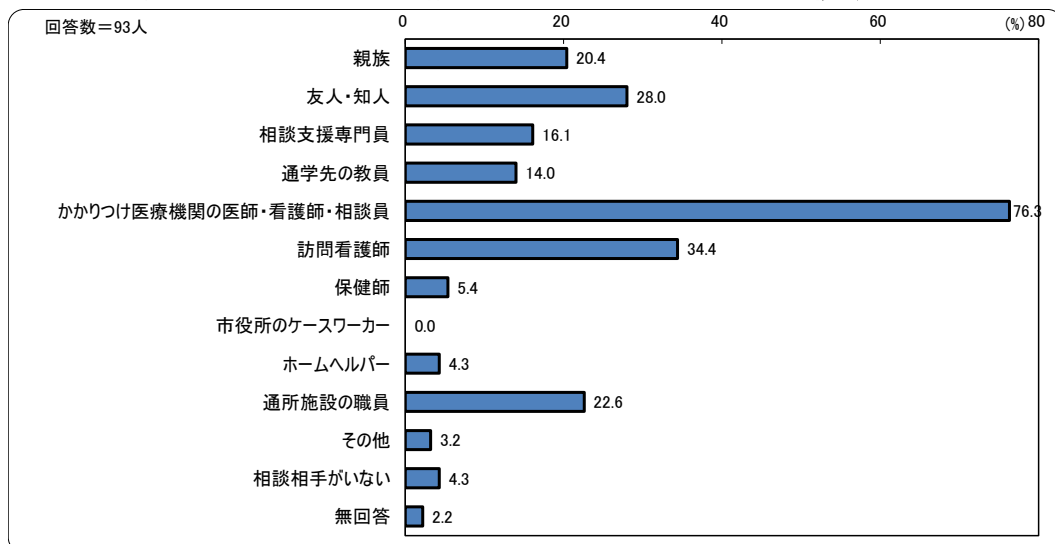
「従たる介護者」は、「父」が58.1%と最も多く、次いで「祖母」が16.1%となっている。

### (2) 主たる介護者が介護・医療的ケアをできない場合、介護・医療的ケアを依頼している（する予定）方（複数回答）



主たる介護者が介護・医療的ケアをできない場合、介護・医療的ケアを依頼している（する予定）方について、「サービスを利用している」が37.6%と最も多く、次いで「人に依頼している」が29.0%、「依頼できる人、サービスがない」が22.6%となっている。

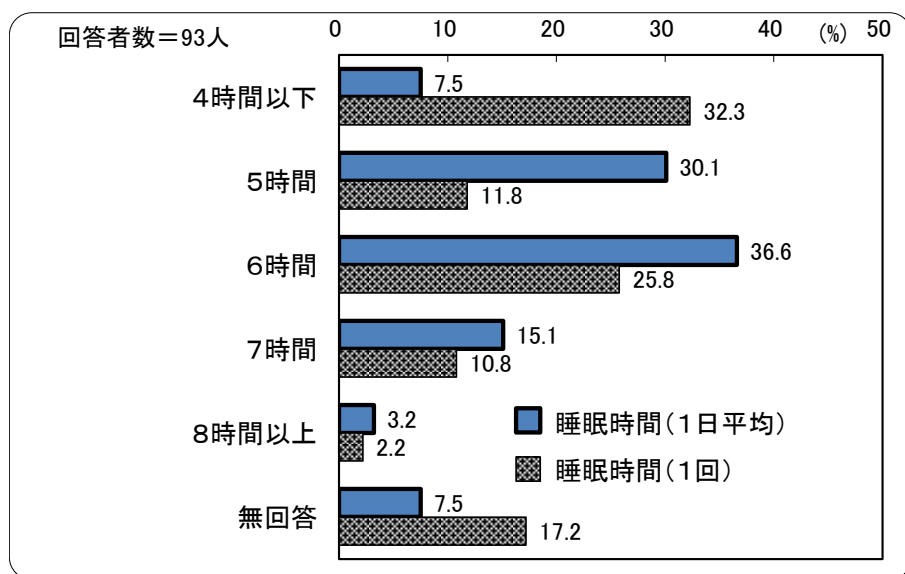
### (3) 医療的ケアについて相談できる家族以外の相手（複数回答）



医療的ケアについて相談できる家族以外の相手について、「かかりつけ医療機関の医師・看護師・相談員」が76.3%と最も多く、次いで「訪問看護師」が34.4%、「友人・知人」28.0%、「通所施設の職員」が22.6%となっている。

### (4) 主たる介護者の介護等負担の現状

#### ① 「主たる介護者」の睡眠時間

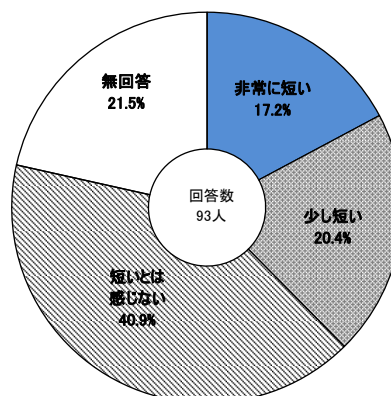
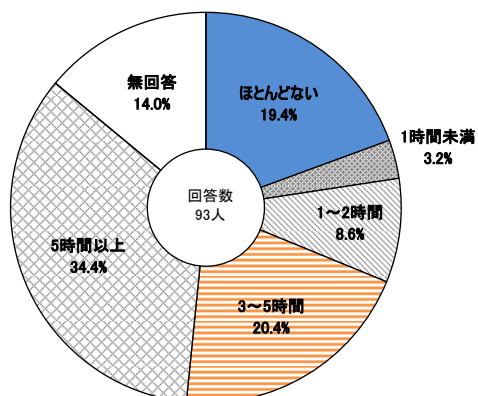


「主たる介護者」の睡眠時間について、1日平均では「6時間」が36.6%と最も多く、平均睡眠時間は5.7時間となっており、1回あたりの睡眠時間は「4時間以下」が32.3%と最も多く、平均睡眠時間は4.8時間となっている。

## ②「主たる介護者」の医療ケア等に携わる時間等

### <②-1 介護から離れられる時間(1日平均)>

### <②-2 時間の長さ>

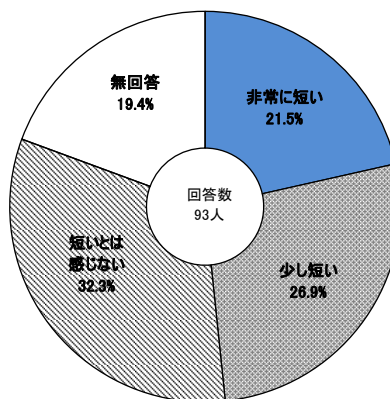
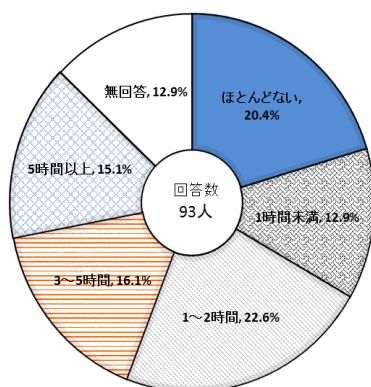


「主たる介護者」が1日の間に医療的ケアを含む介護から離れられる合計で、1日あたりの平均時間について、「5時間以上」が34.4%と最も多く、次いで「3~5時間」が20.4%となっている。

時間の長さについて、「短いとは感じない」が40.9%と最も多くなっている。

### <②-3 介護から離れられる時間(1回平均)>

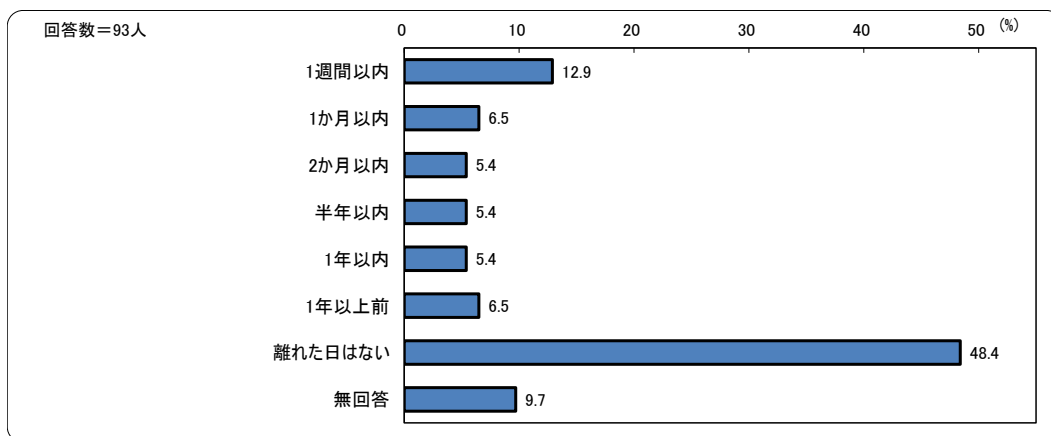
### <②-4 時間の長さ>



「主たる介護者」が1日の間に1回あたりの医療的ケアを含む介護等から離れられる平均時間について、「1~2時間」が22.6%と最も多く、次いで「ほとんどない」が20.4%となっている。

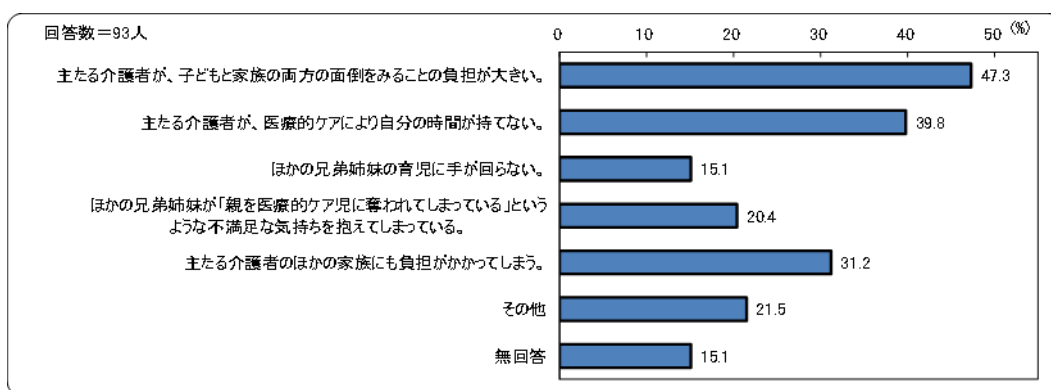
時間の長さについて、「短いとは感じない」が32.3%と最も多くなっている。

## <②-5 介護から丸1日(24h)離れることができた直近の日>



「主たる介護者」が1年の間に医療的ケアを含む介護から丸1日(24h)離れることができた直近の日について、「離れた日はない」が48.4%と最も多く、次いで「1週間以内」が12.9%となっている。

## (5) 一緒に暮らす家族(複数回答)

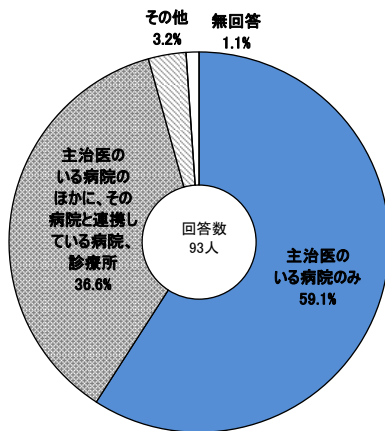


一緒に暮らす家族について、「主たる介護者が、子どもと家族の両方の面倒をみることの負担が大きい。」が47.3%と最も多く、次いで「主たる介護者が、医療的ケアにより自分の時間が持てない。」が39.8%となっている。

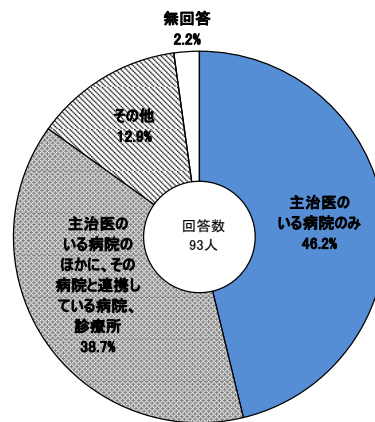
### 3. 医療機関等

#### (1) 医療機関

##### <① 原因疾患等の治療先>



##### <② 一般的な病気の治療先>

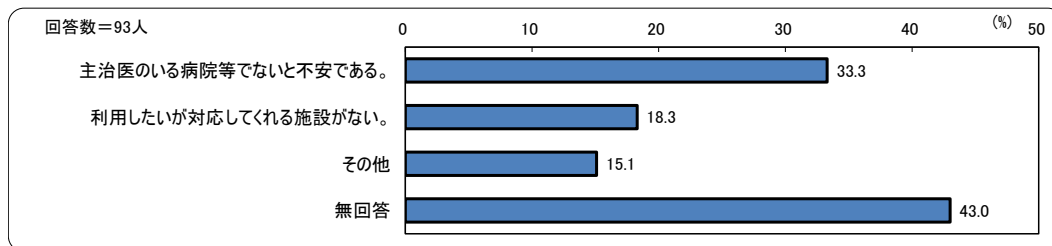


①医療的ケアが必要となった原因疾患等の治療先について、「主治医のいる病院のみ」が59.1%と最も多く、次いで「主治医のいる病院のほかに、その病院と連携している病院、診療所」が36.6%となっている。

②風邪などの一般的な病気の治療先についても、「主治医のいる病院のみ」が46.2%と最も多く、次いで「主治医のいる病院のほかに、その病院と連携している病院、診療所」が38.7%となっている。

##### <③ 主治医のいる病院や診療所を利用しない理由>

(複数回答)

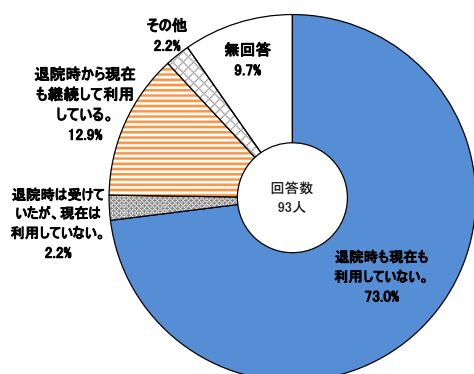


③主治医のいる病院のほかに、その病院と連携している病院、診療所を利用しない理由について、「主治医のいる病院等でないと不安である。」が33.3%と最も多く、次いで「利用したいが対応してくれる施設がない。」が18.3%となっている。



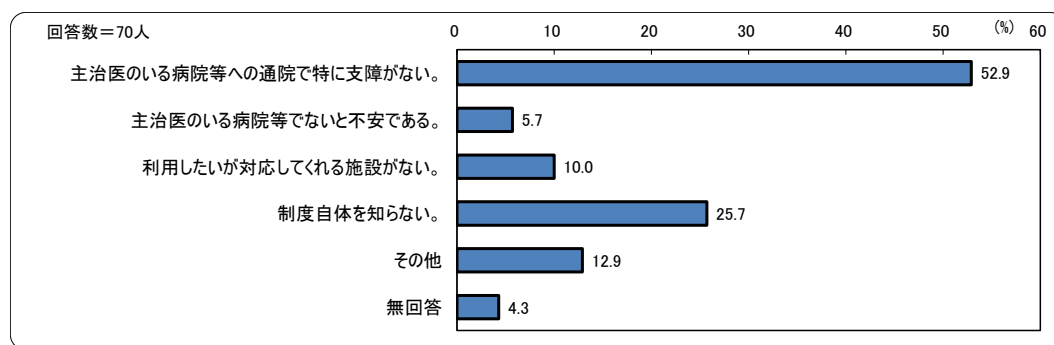
## (2) 訪問診療

### ①訪問診療の利用の有無



訪問診療の利用の有無について、「退院時も現在も利用していない。」が73.1%と最も多く、次いで「退院時から現在も継続して利用している。」が12.9%となっている。

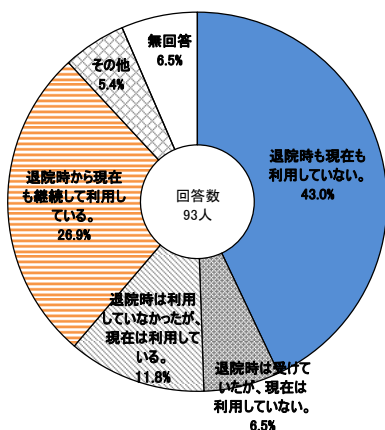
### ②訪問診療を利用しない理由



訪問診療を利用しない理由について、「主治医のいる病院等への通院で特に支障がない。」が52.9%と最も多く、次いで「制度自体を知らない。」が25.7%となっている。

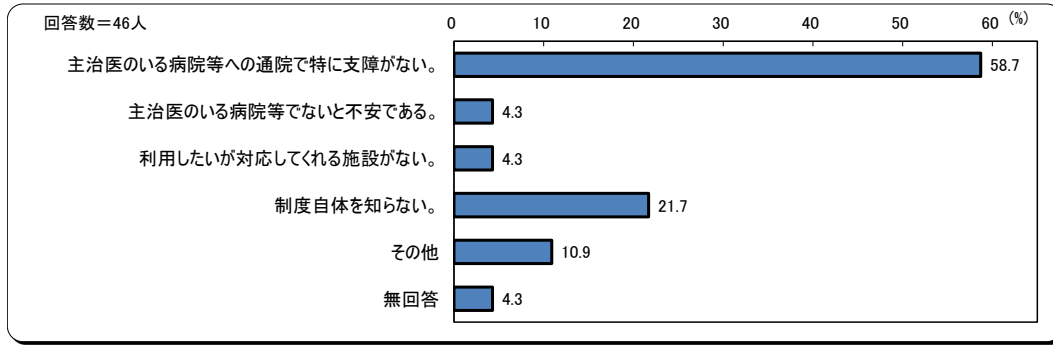
## (3) 訪問看護

### ①訪問看護の利用の有無



①訪問看護の利用について、「退院時も現在も利用していない。」が43.0%と最も多く、次いで「退院時から現在も継続して利用している。」が26.9%となっている。

## ②訪問看護を利用しない理由



②訪問看護を利用しない理由について、「主治医のいる病院等への通院で特に支障がない。」が58.7%と最も多く、次いで「制度自体を知らない。」が21.7%となっている。

## 4. 福祉サービスの利用

### (1) 福祉サービスの利用状況

#### ①福祉サービスの利用状況

	(1) 利用 している	(2) が～利 ない用 し～す てい るい 必要 ない	(3) 利用 でき ない が、	無 回 答	回答数
凡例					
①居宅介護(ヘルパー)	18.3	51.6	15.1	15.1	93人
②重度訪問介護	9.7	57.0	14.0	19.4	93人
③医療型短期入所	15.1	49.5	21.5	14.0	93人
④福祉型短期入所	6.5	57.0	16.1	20.4	93人
⑤移動支援	16.1	45.2	25.8	12.9	93人
⑥生活介護	22.6	49.5	15.1	12.9	93人
⑦訪問入浴	10.8	63.4	12.9	12.9	93人
⑧日中一時	16.1	49.5	19.4	15.1	93人
⑨相談支援事業	40.9	37.6	7.5	14.0	93人
⑩地域活動支援センター	20.0	48.6	8.6	22.9	35人
⑪放課後等デイサービス、 又は児童発達支援	8.6	54.3	5.7	31.4	35人

グラフ単位: %

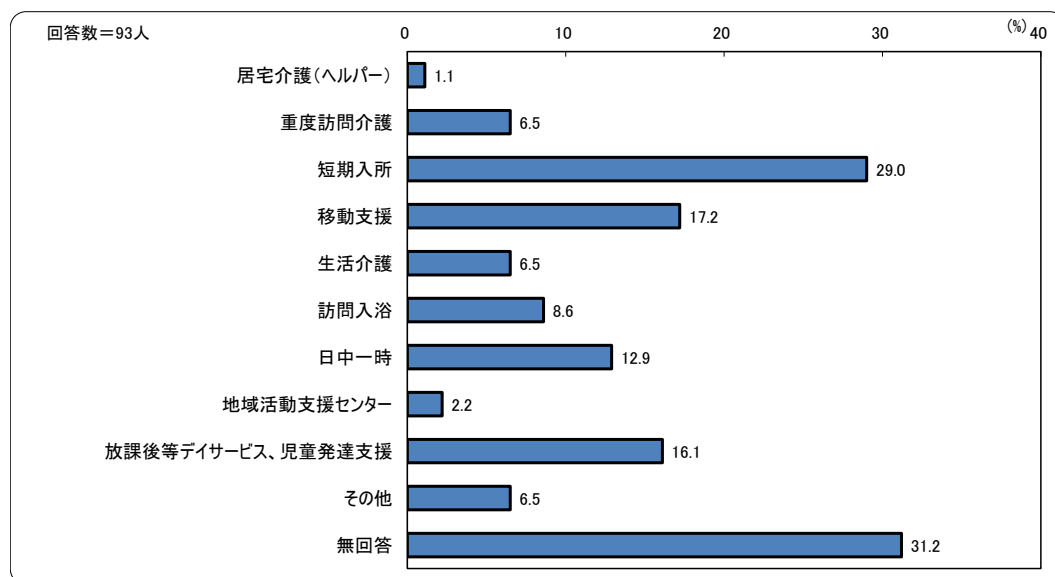
①福祉サービスの利用状況について、【⑨相談支援事業】を除く全ての福祉サービスで「利用していない(利用する必要がない)」が最も多く、4割以上を占めている。また、【③医療型短期入所】や【⑤移動支援】では「利用したいが、利用できない」も2割を超えている。

## ②福祉サービスを利用したいが利用できない理由

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	
	全体	医療的ケアを理由に断られた。	定員枠が空いていないため。	突然の申込みには対応できない。	施設・自宅の設備・構造。	職員数の不足。	本人の特性（多動・自傷行為）。	受け入れてくれるところがない。	送迎のサービスがない。	サービスを知らない。	その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)												
①居宅介護（ヘルパー）	14 100.0	2 14.3	-	2 14.3	1 7.1	1 7.1	-	6 42.9	1 7.1	2 14.3	3 21.4	1 7.1
②重度訪問介護	13 100.0	1 7.7	-	1 7.7	1 7.7	1 7.7	-	6 46.2	-	5 38.5	2 15.4	1 7.7
③医療型短期入所	20 100.0	3 15.0	2 10.0	7 35.0	1 5.0	2 10.0	3 15.0	6 30.0	5 25.0	2 10.0	4 20.0	3 15.0
④福祉型短期入所	15 100.0	2 13.3	2 13.3	4 26.7	1 6.7	1 6.7	1 6.7	7 46.7	3 20.0	5 33.3	2 13.3	1 6.7
⑤移動支援	24 100.0	3 12.5	1 4.2	4 16.7	1 4.2	1 4.2	4 16.7	8 33.3	2 8.3	6 25.0	3 12.5	6 25.0
⑥生活介護	14 100.0	1 7.1	1 7.1	2 14.3	-	1 7.1	-	5 35.7	1 7.1	5 35.7	2 14.3	3 21.4
⑦訪問入浴	12 100.0	1 8.3	1 8.3	2 16.7	-	1 8.3	-	5 41.7	-	3 25.0	3 25.0	3 25.0
⑧日中一時	18 100.0	1 5.6	1 5.6	2 11.1	-	1 5.6	1 5.6	8 44.4	3 16.7	4 22.2	4 22.2	3 16.7
⑨相談支援事業	7 100.0	-	1 14.3	1 14.3	-	1 14.3	-	2 28.6	1 14.3	3 42.9	1 14.3	1 14.3
⑩地域活動支援センター	3 100.0	-	-	-	-	-	-	1 33.3	-	2 66.7	-	-
⑪放課後等デイサービス、 又は児童発達支援	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0

②福祉サービスを利用したいが利用できない理由について、「受け入れてくれるところがない」や「サービスを知らない」との回答が多く、情報や施設の不足がうかがえる。

## (2) 一番利用したいサービス（該当するもの2つまで）

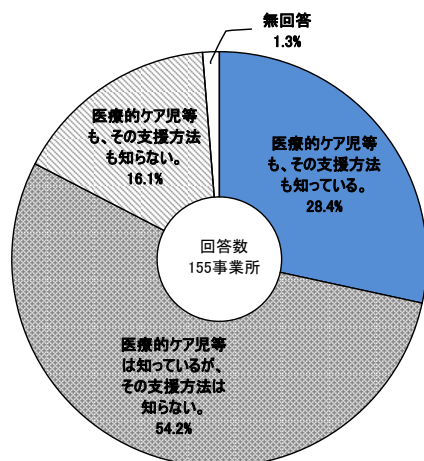


一番利用したいサービスについて、「短期入所」が29.0%と最も多く、次いで「移動支援」が17.2%、「放課後等デイサービス、児童発達支援」が16.1%となっている。

## C. 医療的ケア児等の支援に関わる事業所調査

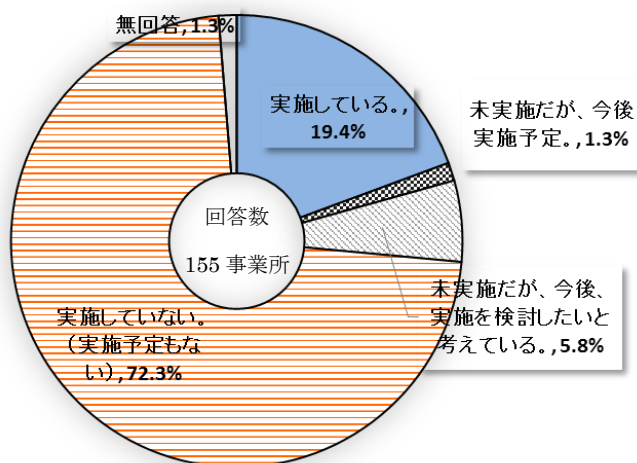
### 1. 医療的ケア児等に対するサービス提供の実施状況

#### (1) 医療的ケア児等やその支援方法



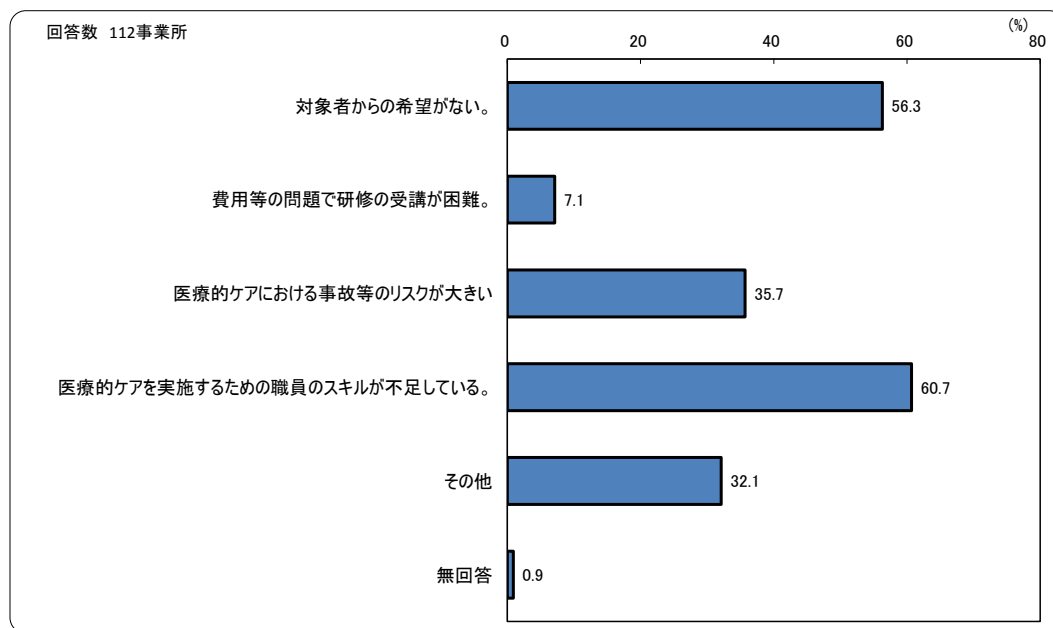
医療的ケア児等やその支援方法について、「医療的ケア児等知っているが、その支援方法は知らない。」が54.2%と半数以上を占めている。

#### (2) 医療的ケア児等に対する支援の実施有無



医療的ケア児等に対する支援の実施有無について、「実施していない。(実施予定もない)」が72.3%と最も多く、次いで「実施している。」が19.4%となっている。

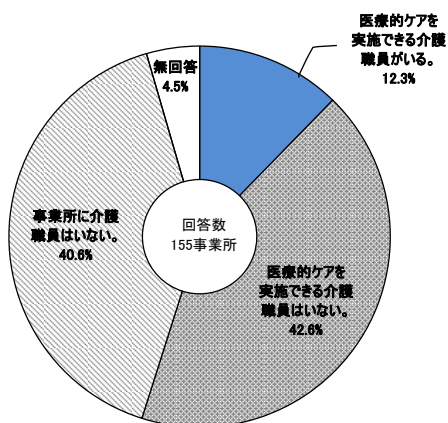
### (3) 医療的ケアを実施していない理由（複数回答）



医療的ケアを実施していない理由について、「医療的ケアを実施するための職員のスキルが不足している。」が60.7%と最も多く、次いで「対象者からの希望がない。」が56.3%となっている。

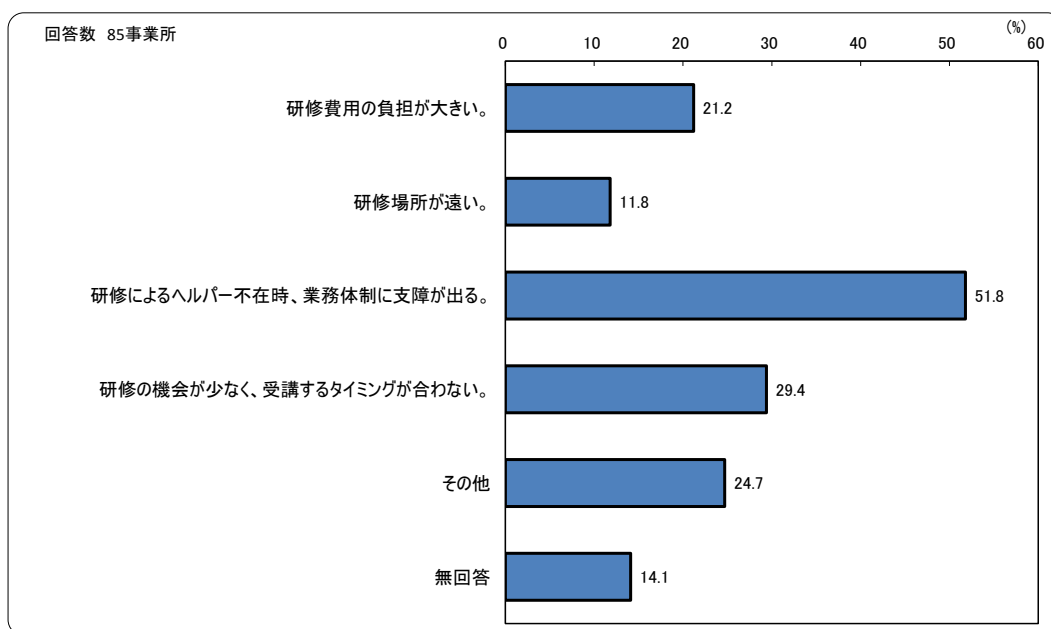
## 2. 介護職員による医療的ケアの実施

### (1) 医療的ケアを実施できる介護職員の有無及び人数



医療的ケアを実施できる介護職員の有無及び人数について、「医療的ケアを実施できる介護職員はいない。」が42.6%と最も高く、次いで「事業所に介護職員はいない。」が40.6%となっている。

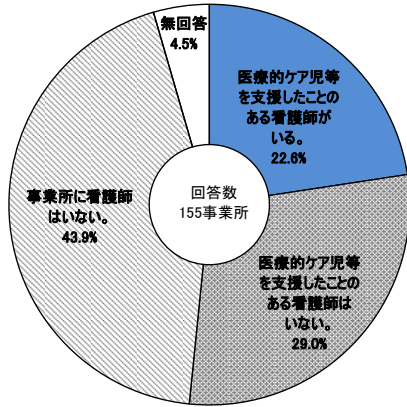
### (2) 研修を受講する際の課題（複数回答）



研修を受講する際の課題について、「研修によるヘルパー不在時、業務体制に支障が出る。」が51.8%と最も多く、次いで「研修の機会が少なく、受講するタイミングが合わない。」が29.4%となっている。

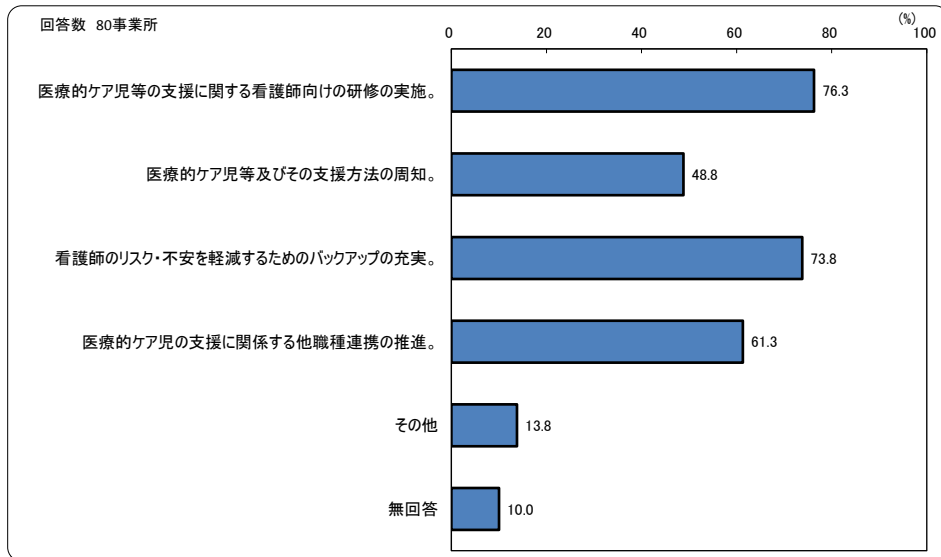
### 3. 看護師による医療的ケア児への支援の実施

#### (1) 医療的ケア児を支援したことの有無及び人数



医療的ケア児を支援したことの有無及び人数について、「事業所に看護師はいない。」は 43.9%と最も多く、次いで「医療的ケア児等を支援したことの有無看護師はいない。」が 29.0%、「医療的ケア児等を支援したことの有無看護師がいる。」が 22.6%となっている

#### (2) 看護師による医療的ケア児への支援を推進するための有効策 (複数回答)



看護師による医療的ケア児への支援を推進するための有効策について、「医療的ケア児等の支援に関する看護師向けの研修の実施。」が 76.3%と最も多く、次いで「看護師のリスク・不安を軽減するためのバックアップの充実。」が 73.8%となっている。